

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	38169	
事業名	製造業生産性向上支援費						
評価担当課	所属名	経)産業振興部 地域産業振興課					
	課長名	小室 匡	担当者名	川崎 徹	電話番号	011-211-2392	
施策名	主	創造性を生かしたイノベーションの誘発					
	副						
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	○ 対象 ● 対象外			
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費						
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理						
事業内容	実施形態	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他					
	目的	短期	中小製造業においてIoT導入の取組みが広がるよう、身近なIoT導入事例(モデルケース)を創出する。				
		長期	中小製造業の生産性向上(人手不足等の対応策)				
	取組内容	生産性向上に有効な手段であるIoTの導入を促進する。具体的には、中小製造業にとって身近なモデルケースを創出し、その取組み結果や過程を広く普及啓発することで、追従する企業を増やしていく。 ①IoT導入セミナー・成果報告会開催 ②中小製造業者が取り組むIoTシステムや自動化ロボットの導入に係る費用を補助 ③モデル企業に対する専門家のハンズオン支援					
	実施結果	・IoT導入に関するセミナーや、ハンズオン支援を受けた企業による成果報告会を開催した。 ・中小製造業者を対象に、IoT導入費用の補助(製造業IoT導入ファーストステップ補助金、2件採択)、及び本格的なIoTシステムやロボット等の自動化装置の導入費用の補助(製造業生産工程カイゼン補助金、3件採択)を実施した。 ・中小製造業者(3社)に対して、専門家チームがIoT導入計画策定をハンズオン支援した。					
事業実施における工夫点	令和2年度まではIoT導入費用のみを対象としていたが、一歩進んだ生産ラインの自動化等の本格的な取組みについても補助対象とするため、補助額を増額した「製造業生産工程カイゼン補助金」を新設した。						
対象者	さっぽろ連携中枢都市圏内中小製造業者、IT企業			開始	平成31年度	終了	0 年度
関連法令・条例・要綱等							
他都市の状況	・富山県「IoT導入・AI活用ステップアップ補助金」 ・長野県上田市「IoT導入支援事業補助金」 ・(独法)経済産業研究所「IoT、AI等による中堅・中小企業の競争力強化研究会」						

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	4,568	11,000	8,690	11,000	
うち特定財源	0	0	0	0	
人工	0.6	0.7	0.7	0.7	
人件費	4,320	5,040	5,040	5,040	
計(事業費+人件費)	8,888	16,040	13,730	16,040	
事業費の内訳	令和3年度決算	・製造業IoT導入ファーストステップ補助金 998千円 ・製造業生産工程カイゼン補助金 4,455千円 ・IoT導入ハンズオン支援 2,937千円 ・IoTセミナー・成果報告会 250千円 ・市事務費 50千円			
	令和4年度予算	・製造業IoT導入ファーストステップ補助金 3,000千円 ・製造業生産工程カイゼン補助金 4,500千円 ・IoT導入ハンズオン支援 3,000千円 ・IoTセミナー・成果報告会 500千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
活動指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
成果指標1	指標名	IoTを導入して生産性向上に取り組んだ企業数(累計)			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	10社	18社	15社	23社	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	B	セミナー・報告会の開催やハンズオン支援の実施により、IoT導入を促す普及啓発やIoT導入計画の策定支援を実施することができたが、IoT・ロボット導入補助については目標の8件に対し5件に止まった。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	製造業IoT導入ファーストステップ補助金の採択件数については目標に達しなかったものの、製造業生産工程カイゼン補助金の採択件数や、セミナー・報告会の来場者人数については想定通りであり、適切なボリュームであった。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	補助金の採択企業やハンズオン支援の委託業者について、IoT導入に係る知見を持つ審査委員による審査で採択企業を決定しており、効果的な実施計画を持つ企業に対して補助・委託を実施できた。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	補助金について、令和2年度まではIoT導入費用のみを対象としていたが、一步進んだ生産ラインの自動化等の本格的な取組みについても補助対象とするため、補助額を増額した「製造業生産工程カイゼン補助金」を新設した結果、採択予定件数から申請があり、ニーズに応えることができた。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応	<input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映	
今後の改善点	現在、各事業を個別に実施しているため、ハンズオン支援の翌年度に補助金活用というスケジュールとなり導入に時間を要していることから、一体的な事業の実施によりIoTの導入を加速させていく必要がある。				
前回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	なし		見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	本事業により生産性が向上している企業は着実に増えており、本市経済を牽引する中小企業の振興に寄与していると判断する。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	● 改善 ○ 現状維持 ○ 休止・廃止 これまでは事業を個別に実施したが、R5からはノーステック財団への補助により一体的に事業を実施し、IoTの導入を加速させていく。			
	予算	● 拡充 ○ 現状維持 ○ 縮小 ○ その他 企業のニーズへの対応や、事業の効果的な実施のため、導入補助金額やノーステック財団への事務費等の予算を拡充する。		見直し効果額	0 千円